

1. 本県周辺海域の概況(図1, 6/9現在)

・黒潮の流型は、N型で推移しています。黒潮本流は犬吠埼を離岸した状態で、本県沖合を北東に流去しています。  
・親潮第一分枝の先端位置は、北緯37° 30' 東経142° 30' 付近(福島県沖)にあります。親潮の面積は平年よりかなり大きくなっています。また、東北海域の海面水温は、平年より低めで推移しており、特に金華山沖ではかなり低めで推移しています(気象庁5/30発表)。

2. 海洋観測結果(6/2~4:調査船「いばらき丸」)

・水平水温図(水温, 前月差, 平年偏差)を図2~9に示しました。また、各定線の鉛直水温図を図10~13に、会瀬・鹿島定線の鉛直水温図(前月差, 平年偏差)を図14~17に示しました。海面水温は、会瀬沖で15.1℃~18.9℃, 大洗沖で15.1~21.0℃, 鹿島沖で16.8~21.0℃, 犬吠埼沖で19.2℃~23.6℃でした(①, 図2)。  
・前月と比べると、海面水温は茨城県沖全域でおおむね前月並でしたが、犬吠埼沖合を除く広い海域の50m~200m深で降温しました。特に、鹿島沖で顕著に水温の低下が見られました(~-10.7℃)(②)。  
・平年と比べると、表層では暖水波及の影響が残り、茨城県沖の広い範囲で「平年並~やや高め」となりました。一方、犬吠埼沖を除く50m~200m深の広い範囲で「平年よりやや低め~極めて低め」となりました(~-7.7℃)(③)。  
・潮流の特徴として、大洗・鹿島・犬吠埼沖で、黒潮本流の北東への強い潮流(2.0~4.1ノット)が観測されました。会瀬~鹿島の沿岸域では、やや強い逆潮(0.5~0.7ノット)が観測されました。

3. 今後1か月の見通し

・黒潮流型はN型で推移するでしょう。黒潮流路は、犬吠埼沖を離岸しながら北東に流去するでしょう。  
・親潮の面積は平年よりかなり大きめで推移する見通しで、親潮第一分枝の先端は北緯37° 00' 東経142° 30' (福島県沖付近)まで南下するとみられます。  
・水温を平年と比べると、冷水の南下がみられるものの、暖水波及の影響が残り、表層では茨城県沖全域で「平年並」で推移するでしょう。  
一方、50m~200m深では冷水南下の影響が強く、会瀬~鹿島沖の広い範囲で「やや低め~低め」で推移するでしょう。

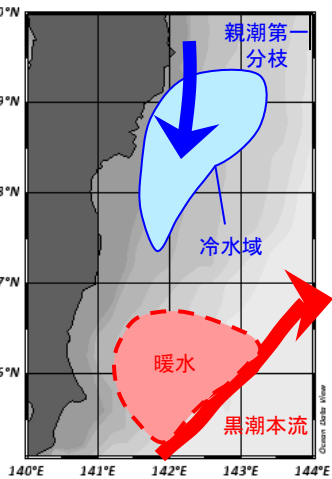


図1 海況の概要 (6月9日現在)

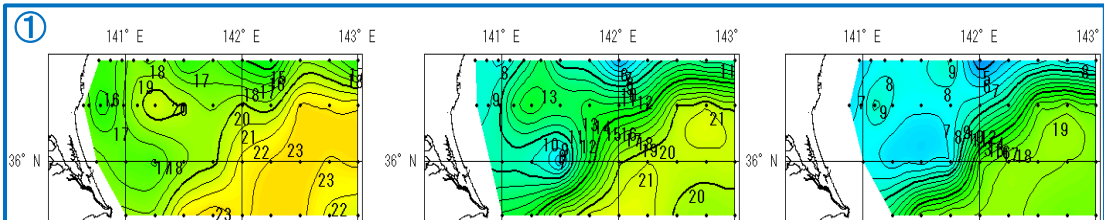


図2 海面水温(°C)

図3 50m深水温(°C)

図4 100m深水温(°C)

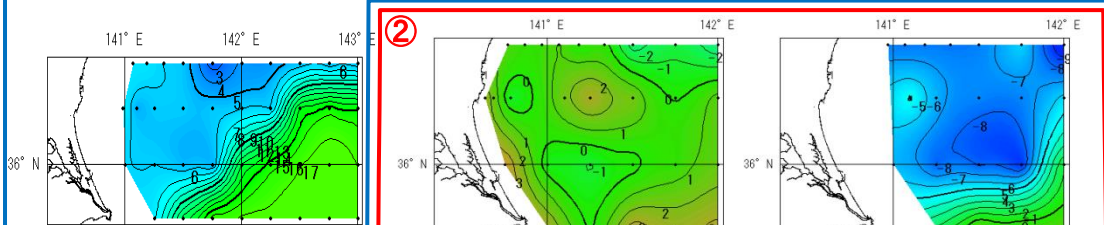


図5 200m深水温(°C)

図6 海面水温前月差(°C)

図7 100m深水温前月差(°C)

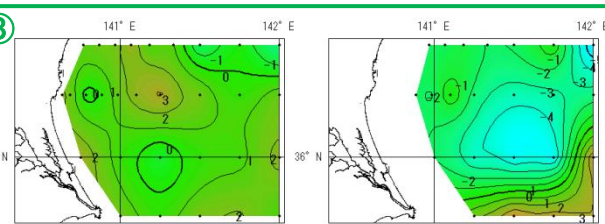


図8 海面水温偏差(°C)

図9 100m深水温偏差(°C)

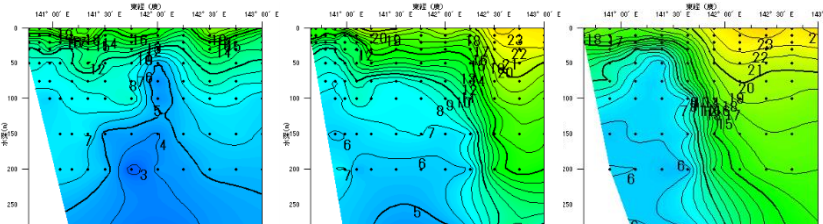


図10 会瀬沖鉛直水温(°C)

図11 大洗沖鉛直水温(°C)

図12 鹿島沖鉛直水温(°C)

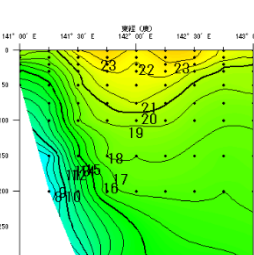


図13 犬吠埼沖鉛直水温(°C)

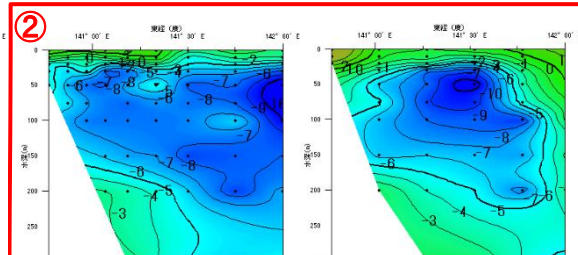


図14 会瀬沖鉛直水温前月差(°C)

図15 鹿島沖鉛直水温前月差(°C)

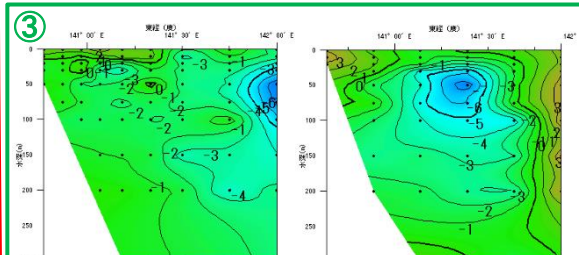


図16 会瀬沖鉛直水温偏差(°C)

図17 鹿島沖鉛直水温偏差(°C)